



# わか草



## 開設三年目に向けて

### 東部療育センター 院長 有馬 正高



成人式、節分、豆まき、桃の節句などの季節の行事が進み、平成十九年度の事業を総括する時期になりました。二階病棟と通所の開棟、電子カルテの始動、学齢児の訪問学級への就学など、平成十八年四月の全面的な活動の開始から丸二年が過ぎようとしています。

開所以来、九十人余の長期入所の方達に加え、約千八百人の外来新患と百八十人の短期入所利用の方達をお受けすることができました。

平成十九年度は、長期および短期の入所、入院、通所を利用された全ての方達が、いろいろな健康障害、生命の危機を乗り越えて新春を迎えていただきました。この経験は、日本の重症心身障害児施設の四十年に及ぶ歴史を顧み、すばらしい実績です。診療部、療育部、それを支えた各持場の人達の絶えざる努力と協力によって始めて成し遂げられた賜であると評価し、心から嬉しく感じます。

また年度当初から、それまでの訪問学級が養護学校の分教室として発足し、学齢期の人達の授業時間が増加しました。教師の方々がいろいろと工夫を凝らし、心の窓を開いていただいております。

二年余りの間に、センター周囲の環境はめまぐるしく変わりました。南砂町駅の案内、地図板に加え、あゆみ公園に数十メートルおきにオレンジ色の道標が立てられ、駅から降りて訪れてくる人達が迷わなくなったと聞きます。「東部療育センター前」のバス停で降りる通勤者も増え、朝夕は混雑するようになりました。子供や車椅子の横断のために道路に徐行の標識をつけていただいたのに、全く無視し高速並みのスピードで走る乗用車もあります。近く近

隣に大規模な商業施設が完成する由で便利になる一方、危険の増加も案じられます。二月の始めには、珍しく雪景色が中庭や公園の芝生を美しく覆いました。利用者の方達、ご家族ともども、わか草の香りと、とりどりの季節感を楽しめるセンターを思い浮かべているこの頃です。



成人を迎えた利用者様とそのご家族を祝う院長

# リハビリ関連 グループ活動の紹介

## EAST CLUB

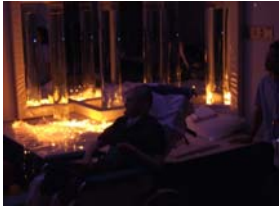
毎月第一火曜日の午後、主にプレイルームで活動をしている女性だけのグループです。内容は毎回様々で、今までに、「ゼリーの触感・食感を楽しもう!」（型抜きと試食）、「秋のおしゃれ大作戦」「クリスマス用クッキー作り」などを行いました。皆さんが素敵な一面を見せてくれました。今後も少しずつまとまりもできてきました。今後楽しみなグループです。



EAST CLUBの活動の様子

## あずま

いらっしやいませ〜「カラオケ・あずま」によつこそ。テーマは「癒しの一時をあなたに☆」。僕たちは、「男」4人で活動している。歌や楽器が大好きな「ちょっと似た者」同士のグループです。ミラーボールが光る中、アニメソングなどお気に入りの歌を繰り広げています。そう、雰囲気はまるで、カラオケバーやスナックのよう☆大人の空間です。第4金曜日の午後によつてま〜す!よかつたらのぞきにきてください。



あずまの活動の様子

## 新砂フィーフ

月に一回、六人の仲間（男性五名・女性一名）が集まって活動しているグループです。仲間同士や職員と活動する中で、人への関心や関わりを深めていくことを目的に取り組んでいます。今年は、みなで一つの壺を粘土で作る活動や、二人か三人の組に分かれてシートを引き裂いて壁飾りを作る活動に取り組みました。仲間の輪が少しずつ広がってきているグループです。ほんわかした雰囲気の中で活動しているこのグループをよろしく!



新砂フィーフの活動の様子

## のびのび

小学校に上がる前のかわいい幼児の七名男の子四名、女の子三名が集まり、毎週火曜日に四〇分間の活動をしているグループです。活動は、挨拶の歌で始まり、次に名前呼びをしています。その後腰・手・足を動かす体操をしてウォーミングアップした後に、大きなシートを使った「シートブランコ」で揺れ遊びをしています。夏にはプールを秋には運動会もしているので、関心のある方は見に来てください!...



のびのびの活動の様子

## ぽかぽか

外来乳幼児のグループです。十人ほどのお友達、水曜日になると家族に連れられて「ぽかぽか」に遊びに来ます。このグループでは、リズム遊び・プール・遊具遊びなど毎週違った活動をしています。最初の頃は、色々な音や刺激に「ドキドキ、びくびくしていたお友達も、一年の間にどんどん逞しくなっています☆「親子で!」、「お友達と!」一緒に参加する時間を過すことで、在宅支援にもなればと思っています。



ぽかぽかの活動の様子

## わくわく

わくわくグループとは...医療的な配慮の関係で活動に参加しにくい人たちに對して、Drや看護師さんの協力のもと活動を行っているグループです。春は中庭で春風を感じ、夏は盆踊りを踊りながら綿あめの甘さとかき氷の冷たさで暑さを忘れ、秋は楽器を演奏しながら芸術の秋を楽しみ、冬は新年会とスヌーズレン室でまったりと楽しんでます。今年の演奏会では通所やかもめ分教室のみなさんに発表ができたので、来年の目標は『外に散歩かお買い物かな〜?!』私たちのためにDrや看護師さん!協力お願いします☆



わくわくの活動の様子

## ランチグループ

病棟の外に出て、いつもとちょっと違った雰囲気の中、みんなで話しながらお食事を楽しむグループです。キャンドルの灯りの中でレストランの雰囲気を楽しんだり、四季折々の飾りつけや映像を見て季節を感じられるような工夫をしています。そして何よりも病棟を超えて色々な人とお話しをして交流を楽しんでいます。毎月第一、三木曜日の十二時から行っているので、「家族、職員のみならずもぜひお食事を持って遊びに来てくださいね!」



ランチグループの活動の様子

## 感覚グループ

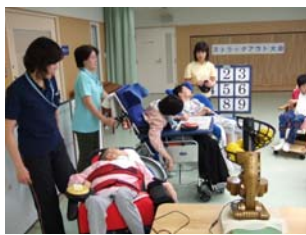
遊具や身近にある色々な素材を使って、様々な感覚を楽しむグループです。エアートランポリンやボールスライダーなどでダイナミックに身体を動かしたり、小麦粉粘土やスライム作りで色々な感触を楽しんだり、紙吹雪や発砲スチロールチップ吹雪で全身で感触を感じたり...いつも身体と五感をフル活用して、見たり、聴いたり、触ったり、揺れたり、とみんな色々な経験と発見をしています。毎月第二、四曜日の午後活動しているのでぜひ遊びに来てみてくださいね!



感覚グループの活動の様子

# コミュニケーショングループ

『はむやあうまやグループ』ことコミュニケーショングループとは、おしゃべり（コミュニケーション）を楽しむグループです。しゃべり出したら止まらないメンバーですが、やりたいこともたくさん……。今まで行った活動は、ダンスパーティーや野球大会、ボーリング大会、夏祭りなど……。これではいつも遊んでいるように思つかもありませんが、企画・実行・反省・活動の練習にも余念がありません！第一、三火曜日の十四時三〇分～十五時三〇分に活動を行っているので、是非応援に顔を出してくださいね。



コミュニケーショングループの活動の様子

# 研修報告

平成十九年十月十八日、ボランティア委員会主催による職員向けボランティア研修会を開催しました。講師は、長野県立こども病院患者・地域支援室赤羽貞子係長で「長野県立こども病院におけるボランティア受入れの実態、および受け入れ側の対応・配慮すべきこと」というテーマで行いました。

研修会では、長野県立こども病院での現在の活動状況、活動が定着した要因、継続してもらうための工夫などが紹介された他

“ボランティア活動を希望されてくる方は色々な知識・経験が豊富な方が多い。また、ボランティアは病院の日常に非日常を運んでくれる貴重な存在。来てくださる方にはその方ができること、得意なことをやって頂くようにしていくことが大切”とお話を頂きました。今後、ボランティアを受け入れていくにあたり、どのようなことに配慮していけばよいのか、参考になる内容だったのではないかと思います。現在、ボランティア委員会では各病棟・通所へのボランティア導入に向けて準備を進めています。



研修風景



講師の長野県立こども病院患者・地域支援室赤羽貞子係長

# カッピングエッジ

## 障害児（者）に有用な新食品の紹介

近年、エネルギーや各種栄養素を補給する目的で多くの「栄養補助食品」が開発されています。

そこで、特に「摂食嚥下機能が配慮された」点で有用で、おかず作りに利用できる栄養補助市販食品を、新しい分類「嚥下食ピラミッド」に基づいてご紹介致します。

摂食嚥下機能は

- ① レベル1：ゼラチンゼリーまたはゼリーより少しべたつきがあっても摂取できる方
- ② レベル2：ゼリーよりべたつき・ざらつきがあっても摂取できる方
- ③ レベル3：ピューレ状～マッシュ状の食品とムース類やとろみ汁が摂取できる方

を目安にしましょう。

但し、栄養管理は「毎日のバランスのとれた食事」が基本です。これらの食品は万能ではありません。頼り過ぎることのない様に補助的な使用を心掛けましょう。



(参考引用：金谷節子「市販栄養補助食品嚥下食ピラミッド1」)

\* P. S 写真「嚥下食ピラミッド」の詳細なパンフレットは、当センター外来にご用意しております。

# 東部の行事

昨年の十二月から今年の一月にかけて当院で行われた行事について紹介します。

## クリスマス



2南病棟  
クリスマス会の様子

私たち二南病棟では、十二月十三日にプレイルームでクリスマス会を実施しました。その日はみんなの体調もよく、全員参加する事が出来ました。午後からの予定だったので、午前中にお化粧をしたり、髪を染色したりして身支度をしました。というのも、会の中でバンドを形成して舞台上立つからです。女性バンド（めばなバンド）と男性バンド（GLAYバンド）を結成して、日々練習した成果を見せる舞台だったのです。職員とペアになり、演奏して大盛況でした。

また、開会と閉会のベルをならしたり、裏方に回りカメラ撮影をしたりと、一人一人が役割を担って、みんなで会を作りしました。途中で職員による絵本とハーブ演奏をはさみ、最後にはサンタさんからのクリスマスカードを配られました。（どこかで見たような・・・）

また、栄養科で作られたクリスマスケーキを囲み、二南全員で楽しいクリスマス会を過ごすことが出来ました。



3西病棟  
職員によるコーダー  
アンサンブル演奏の様子

ひなげし病棟のクリスマス会は、まずは利用者様の出し物から始まりました。南の島のかわいいうさぎと個性的な動物たちが出てくる『あわてうさぎ』の劇と、歌詞をひなげしバージョンにアレンジした『あわてんぼうのサンタクロース』の楽器演奏です。参加された方々からは「かわいい」「頑張れ」という声援も聞こえてきました。

最初は、とても緊張した表情をしていた利用者様ですが、次第に笑顔も見られ、楽しんでる様子がうかがえました。

スタッフの出し物では、なんとハワイからフラガールがやってきて本場のフラダンスを披露したり、様々な大きさのリコーダーでクリスマスソングを演奏してくれたスウィングガールズがやってきたりと、大盛況でした。最後の『きよしこの夜』では、タイミングを見計らった突然の利用者様のツリーチャイムでの参加に感動の嵐でした。笑顔いっぱいのもとても楽しいクリスマス会でした。



3西病棟  
クリスマスベル

# 成人式

二〇〇八年一月十八日に通所で成人式を行いました。今年是一名の方の成人式でした。当日はとても寒い日でしたが、多くの方にご参加頂きました。

午前中は式典を行いました。院長先生から、成人式を迎えた利用者様とご家族の方にお祝いの言葉を頂きました。続いて二十年間の歩みの写真をスライド上映し、通所メンバーとスタッフと保護者の皆様と一緒に成人をお祝いしました。BGMは成人者のご家族からのご要望でジョンレノンの「スタンドバイミー」でした。

皆様、目頭を押さえていらっしやいました。続いて通所メンバーからは指スタンプで「20」の文字を形どったプレゼントを、また通所スタッフと家族会からは花束を贈呈させて頂きました。スーツ姿の新成人はとも立派で大人の表情になっていました。

成人者が墨東養護学校出身だったこともあり、午後からは墨東養護学校かめ分教室の先生方がコンサートを開いてくださいました。獅子舞や豊年太鼓演奏などとても華やかで盛り上がりました。

人生の中でとても大切な日を通所でお祝いすることができ、通所スタッフ一同うれしく思っています。



成人式にて(通所)  
成人者とご家族

# 新人紹介

昨年七月一日付けで入職いたしました看護師の秋元多美子と申します。私はこれまで都立病院で勤務しておりました。今回都立広尾病院から来ました。今までの経験の中で特に印象深い部署では救命救急センターやNICUでして、救命された方々のその後の人生やNICUで関わった子供さんがどの様な成長過程を経られているか等気がかりでした。現在まで療育の経験は全くありませんが、今回縁がありまして東部での勤務となり、長年の気がかりの一部が解決致しました。

入職以前療育について色々なイメージがあり、不安要素をいっぱいでしたが、東部での勤務を開始してまもなくそれらは払拭されました。現在では日々楽しく新鮮な気持ちで勤務いたしております。利用者さん達がよりよい充実した人生が過ごせますように、微力ながら勤めさせて頂きたいと考えております。今後とも、宜しくご指導お願い致します。

# 編集後記

わか草第六号をお届けします。新年になり平成も二〇年を迎えました。今年には地球温暖化の影響がどうなのかわかりませんが、しっかりと寒波がきています。新年の感染症では急性胃腸炎が流行っていました。インフルエンザのさざ波も起きはじめています。今後ビッグウェーブが来ないことを祈ります。第七号よりわが「わか草」は年度の始まりにあわせいままでより一か月ずつ遅らせて、七月、十月、一月、四月と発行していきます。では暖かい春を心待ちにして、今回の編集後記を終えたいと思います。